

防災拠点に暮らす ～環境共生の暮らしが防災につながる～

体育館は、那須町の避難所

「100年コミュニティ」の創造を目指している那須まちづくり広場では、防災は大きなテーマです。「那須まちづくり広場」西隣に建つ体育館は、那須町の避難場所の一つ。廃校から寄贈された寝袋、鍋釜、テントを保管しています。校舎屋上の50キロワットの太陽光発電パネルは、2018年の開設時に設置、停電したときには、非常用電源として災害用コンセントが2口使えます。さらに校舎中央南口付近のタンクに備蓄された水は断水時に使え、校庭には、汲み取り式のトイレを残してあります。



校舎の屋上に設置した太陽光パネル

ボランティアグループ那須まちづくりの会の「ランドデザイン部会」は「広場の植栽・防災・環境共生を考える」をテーマ

とした会合を毎月開催しており、井戸掘りや炊き出し体験会を計画しています。2023年には畑を借りての農作業や果樹の植えこみも予定しています。

「ランドデザイン部会」ではこのような防災や環境共生の活動にネットで参加できるWEBサイトを運営しています。「キャンプファイヤー那須まちづくり広場」でヒットします。参加大歓迎です。また、災害への備えをより強めるべく、栃木県防災士会のお力を借りて防災についての講演を企画中、自主防災組織立ち上げも検討しています。

さらに「那須まちづくり広場」では、避難所の運営をゲーム形式で体験できる「避難所運営ゲーム(HUG)」を定期的に開催。避難所で起こる状況の理解と適切な対応の学びをつみ重ねています。



ランドデザイン部会では、井戸の復活を準備中。この土の下に使用されていない井戸があります。



広場から徒歩5分、この畑で「ひろばの家・那須2」の食材費サポートも目標です。

まちづくりの会

誰もが自分らしく暮らしていきながら、安心して暮らせる地域づくりのために「那須まちづくり広場」とその近隣で活動しているボランティアグループです。会員は約80名、現在は、テーマごとに3つの部会が活動しています。

- ① **ランドデザイン部会**：「広場を美しく暮らしやすく安全な場に」を目標に、植栽・たい肥を使った畑づくりなど、環境共生や防災を進めています。
- ② **あさひ倶楽部**：送迎や日々の暮らしの様々な助け合いを促進。広場で活用する通貨「あさひ券」を発行。
- ③ **美化クラブ**：広場内外の整備・清掃・花壇・草刈りなどを主に月1回活動。

那須まちづくり株式会社 代表 近山恵子

2018年に「那須まちづくり広場」を開設いたしました。地域の皆さまの思い出があふれる旧朝日小学校をお預かりし、誰もが、最期まで、その人らしく暮らせるまちづくりの拠点を目指しました。「那須町を生涯活躍の町に」「学びの場と新しいコミュニティの拠点へ」を目標とし、講演会やワークショップなど学びと実践も重ねてきました。多くの出会いがあり、発見がありました。新しい公害である「香害」を知り、「那須まちづくり広場」はフレグランスフリー宣言をいたしました。住宅は、介護の方向けサ高住、多世代向

ワンランド株式会社 代表取締役 橋本善一

人生100年時代と言われてきたのは、さて、いつ頃からなのだろうか。読んだ記事の中に、こんな言葉があった。「50歳や60歳は、花なら、つぼみだ！70歳や80歳は、働き盛りだ！90歳になって、お迎えが来たら、100歳まで、待てと追い返せ！」那須まちづくり株式会社は、数年前に企画してきた「ひろばの家那須1」が完成した。素晴らしい住まいだ。人間の寿命など、考えても、思い悩んでも、何の役にも立たない。「那須まちづくり広場」に住まい集う皆さんが、日々、穏やかに、自分らしく、「100歳まで、待て！」と追い返す、エネルギーの支えになればと思っています。

ひろばの家・那須1 ハウス長 石井悦子

「まちづくり広場」とは、公私ともに開設前からの付き合い合いです。三年前に自分の人生が一変、生活設計を見直し、娘と私は「ひろばの家・那須1」に、息子は「ひろばの家・那須3」に入居を決め、家族で「ひろばの家」に住むことになりました。「ひろばの家・那須1」のハウス長であり、住民でもあります。住民目線で、皆様と一緒にこの「ひろばの家」が終の棲家となりますよう励みたいと思っています。宜しくお願い致します。

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 センター事業団 副理事長 藤田徹

高齢者住宅(サ高住)のスタートなどいよいよ「那須まちづくり広場」が一つの村のようになり、そこに集う多様な人たちが支え合い、育ち合う小さな拠点になっていくことでしょう。ワーカーズコープは、「那須まちづくり広場」のカフェ、マルシェ、ゲストハウス、障害児者支援などを担わせていただいています。ワーカーズコープは、働く人の出資、意見反映、労働で運営される最も新しい形の協同組合であります。今後、利用者、市民の方々との協力を大切にしながら100年のコミュニティづくりに向けたよい仕事を進めていけるよう、共に力を合わせていきましょう。

労働者協同組合ワーカーズコープ北関東事業本部長 小白井加代子

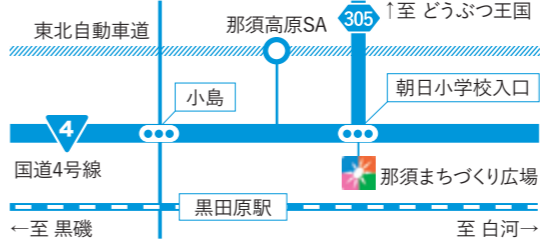
いよいよ「ひろばの家・那須1」が完成し、「那須100年コミュニティ構想」が動き出します。多様な人たちが集い、働き、暮らす。その暮らしはお互いに支え合う仕組みや介護保険や障害福祉サービスの利用も活用し、人生の完成期まで安心して暮らせる。また、多種多様な文化活動にも楽しく暮らせるコミュニティになると考えています。当法人も微力ながらお手伝いさせていただきます。

那須まちづくり広場は、那須町・旧朝日小学校の廃校を活用した少子高齢化社会の新しいコミュニティの拠点です。那須まちづくり株式会社は、誰もが自分らしく最期まで生きがいを持って、安心して暮らせるまちづくりのモデルを目指し旧朝日小学校校舎を改修、屋内プールをリノベーション、介護の方向けサ高住「ひろばの家・那須2」、校庭には自立の方向けサ高住「ひろばの家・那須1」を開設いたしました。


特別非営利活動法人ワーカーズコープとワンランド株式会社は、共同事業者として、「那須まちづくり広場」を支える活動をともにしております。子どもから高齢者までの多世代の様々な価値観を持つ人たちが世代や立場を超え、互いの生活を尊重しながら、ともに支え合い暮らしあう「100年コミュニティのまちづくり」を進めます。多くの方のご参加をお待ちしております。


那須 まちづくり 広場

自立と共生プロジェクト



東北自動車道 那須高原SA 305 上 とうぶつ王国
小島 朝日小学校入口
4 国道4号線 那須まちづくり広場
黒田原駅 至 白河
← 至 黒磯

お問い合わせ  那須まちづくり株式会社
〒329-3225 栃木県那須町豊原丙1340
TEL.0287-74-3434
FAX.0287-74-3447
mail: info@nasuhiroba.com
nasuhiroba.com



大きく変わった！ 変わり続ける！！



2022年11月22日ドローンより撮影。49戸のうち9戸のログハウスは東日本大震災後、仮設住宅で使用したものです。

2020年地域づくり表彰「小さな拠点部門」— 国土交通大臣賞 受賞

「那須まちづくり広場」には、多世代交流と共生を支える居場所があります

住宅関連

- ①ひろばの家・那須1（自立の方向けサービス付き高齢者向け住宅 49戸） 2023年1月開設。
- ②ひろばの家・那須2（介護の方向けサービス付き高齢者向け住宅 26戸） 2022年1月開設。
- ③ひろばの家・那須3（多世代共生のセーフティネット住宅 13戸） 2022年6月開設。

高齢者関連

- ①あい・デイサービス那須（通所介護）
- ②ワンランドケア（定期巡回・随時対応型訪問介護看護、訪問介護）
- ③みとりえ那須（ナースが運営するコミュニティ型シェアハウス） 2023年3月開設予定。

「那須まちづくり広場」の隣地に開設します

障がい者関連

- ①いちばんぼし（児童発達、放課後等デイサービス）
- ②すくらむ（就労継続支援B型、生活介護）

那須まちづくり広場（旧朝日小学校）



2022年5月28日ドローンより撮影

Special Thanks

スペシャルサンクス

廃校となった旧朝日小学校の校舎を生まれ変わらせる改修と校庭のサ高住建設の設計は株式会社VANS。施工は株式会社DI・SANWA CORPORATIONに担っていただきました。入居希望者のニーズを聞き取り、何度も設計図をひき続けたVANS木村さん、倉田さん。そして何度もの設計変更にも応えていただき建築に取り組んでいただいたDI・SANWA CORPORATION 森下さんはじめ設計、建築、施工にご尽力いただいたすべての方々に、心より御礼申し上げます。

◎ 工夫がいあり、元気をもらった参加型プロジェクト

(株)VANS 木村よしひろ



那須まちづくり株式会社の方々と、20年以上前から、参加型高齢者住宅のプロジェクトを一緒に進めてきました。2018年の改修は旧校舎そのままを活かした小改修でした。その一年後には、補助金を確保、小学校跡地全体を視野にいたれた大改修計画を依頼されました。当社はコーポラティブハウスの設計を主に仕事をしてきました。依頼者のニーズを聞き取り、形にできた当社ノウハウを評価いただいたのだと思います、力が入りました。「ひろばの家・那須1」の標準設計は当初18パターンでしたが、皆さまそれぞれのニーズを伺う中で26パターンとなりました。住む方には満足度の高い住宅となったと思いますが、DI・SANWA CORPORATIONにはご苦労を掛けたいと思います。ありがとうございます。多くの出会いに感謝し培った心構えとノウハウを今後も色々な形で試みていきます。

◎ プールのリノベーションは素晴らしい発想です

(株)DI・SANWA CORPORATION 森下勇



2020年の大改修工事から、関わらせていただいています。廃校利用という良い企画で、特に屋内プールをリノベーションして、介護の方向けのサービス付き高齢者向け住宅にした企画は素晴らしい発想です。廃校になり、人の声が聞こえなくなった朝日小学校は、大改修により、どんな人が集まってくるところに生まれ変わりました。良い企画に関わらせていただき、良い経験となりました。感謝申し上げます。引き渡し後もメンテナンスも含めて、末永くお付き合いさせていただきます。今後もよろしく願います。

最期まで自分らしく暮らす

「広場の家・那須1」入居者の声

「ひろばの家・那須1」の10坪がちょうど良い広さ

黒岩 光子さん

ずっと夫婦二人暮らしでしたので、50代から夫と二人で高齢者住宅を探していました。現在は日光市にある戸建住宅で暮らしています。建坪は40坪で、庭が広く、夕陽の眺めが良いところです。長年暮らして愛着がありますが、最期まで住める場所ではないと考えていました。「那須まちづくり広場」には、介護の方向けサ高住の「ひろばの家・那須2」があり、「みとりえ那須」もできる。いざという時に選択できる場所があるというのは、毎日を安心して暮らせるもです。

私は広さ10坪のお部屋を選びました。一人暮らしとなり、生活の機能がコンパクトにおさまっていて、これからの暮らしにはちょうど良い広さだと思いました。収納もあり、十分です。今まで広い庭でガーデニングも楽しんでいたので、これからはベランダがあればよいと思いました。そして、眺めが良いところが好きなので、2階を選びました。

しばらくは、那須から日光へ通って、ゆっくり家の片づけをします。そうそう、日光の素敵などころを那須の皆さまにもみていただきたいですね。大英大使館やイタリア大使館、中禅寺湖の紅葉など、いいところがたくさんあります。ぜひご案内したいです。



私は「ひろばの家・那須1」姉は「ひろばの家・那須2」を選択

巴 玲子さん

6人兄弟の末っ子で、一人暮らしをしていました。終の棲家を決めるように兄や姉から長年言われていたこともあり、高齢者住宅を探していました。「ひろばの家・那須1」は、戸建て感覚で住めること、カフェやマルシェもあることが気に入って、ここなら兄、姉も安心させられると検討をはじめました。

その矢先、すぐ上の姉の夫のガンが発見され、8月に永眠しました。それを機に姉との同居が始まり、姉とともに一人での入居をしようと思いましたが、同居後急に姉の心身が弱ってきて、同居のままでよいのだろうか迷っているときに「ひろばの家・那須2」の見学をすすめられました。最初は興味を示さなかった姉ですが、何回か見学すると、24時間スタッフに見守られている暮らしに安心したので、「ひろばの家・那須2」を選択しました。姉の主治医に入居の報告したところ「素晴らしい選択だ」と。「歩いて数分の距離にそれぞれが安心して住むことができる環境など、めったにない」と言ってくれました。

2022年は本当にいろいろなことが起こりました。私は「ひろばの家・那須1」に、姉は「ひろばの家・那須2」に入居することで安心して新しい年を迎えられそうです。

「ひろばの家・那須1」のわが家に、念願の「天窗」が

エンドウノリコさん



11月に2カ月ぶりに、今の住まいの大阪から那須に行き、建築中のわが家を見ることができました。思っていたよりずっと良い感じで安心しました。それと「高窓」ができていたことが驚きでした。「高窓がほしい」と建築士さんに相談していたのですが、「工期が押しているので基本設計内で」と言われて諦めていたのです。新築に住むということも長年の夢でしたが、都会では絶対にのぞめない家の窓から緑を楽しむという贅沢な暮らしができる事に感謝しています。

通所デイサービス あい・デイサービス那須

昨年6月「那須まちづくり広場」東側1階にオープン。すぐそばに薬校deマルシェ、カフェ、リサイクルコーナー、アートギャラリー、イベントホールがあるのも大きな楽しみです。デイサービスのリビングは、小学校の教室と廊下の壁を取り払い、南北の両窓から空と樹木がみえる広々と気持ちの良い開放的な空間となりました。入浴は、機械浴を使用せずヒノキ風呂です。木の香りたどようヒノキ風呂はゆったりできると人気です。友人同士のデイサービスの利用者と「ひろばの家・那須2」の入居者が同じ曜日にデイサービスを利用しておしゃべりを楽しんだりしておられます。



介護の方向けサ高住 「ひろばの家・那須2」

新年と共に開設1周年を迎えた「ひろばの家那須2」。開設前に見学して入居された佐藤光子さんにお話を伺いました。

「オープンする前に見学し入居を決めました。リビングは天井が高く開放的な気持ち良さがあり、個室の窓からはまやかに木々の緑があり、生活環境がとても良いと思いました。おかげで、今まで住んでいた自宅を整理し、気持ちよく暮らしています。隣の建物に、マルシェやカフェがあります。図書コーナーもあって、よく本を借りて読んでいます。買い物もできるし、カフェでお茶をしたり、歩いて行けるとこに日々の楽しみがあるのがとてもよいです。そして、週に2日、同じ敷地内にあるデイサービスを利用してきます。デイサービスには新聞持参でいきます。ゆつくり読んで読んでいた紙で簡易的な箱を作り、隣のマルシェで使っていた紙で、自分の指のリハビリにもなります。」

自分流の暮らしを楽しむ佐藤さんです。

コミュニティ型シェアハウス みとりえ那須

「那須まちづくり広場」隣地に3月1日開設です。東京都三鷹市で10年「ナースさくまの家」を実践してきた看護師・佐久間洋子さんらと長年「新しい介護のカたち」を提案し、人材育成にも取り組んできたリハビリデザイン研究所山田稜さんが運営します。「みとりえ那須」は最期まで自分らしい暮らしを望んでいる方の「もう一つの自宅」、退院後も医療行為が必要な方、何時でも緊急時にも利用できる「もう一つのあなたの居場所」を目指しています。介護保険に縛られない自由な暮らしができます。

2023年3月1日に開設します。2月23日には、那須まちづくり広場のホールにて開設セミナーを行い、24日から25日に内覧会を行います。ボランティアも募集中です。

NPO法人ワーカーズコープ 那須地域の食卓「もりもり」

「ひろばの家・那須2」を中心に、朝昼晩3食を新鮮な那須の野菜がたっぷり、飽きの来ない家庭料理を提供しています。「ひろばの家」にお住いの方は朝昼晩予約することができます。同じメニューを日替わりランチとしてコミュニティカフェ「ここ」にも提供しています。30年以上高齢者の食事をつくり続けてきた管理栄養士の篠崎美砂子さんが、希望を取り入れながらメニューを作成しています。食の健康相談もカフェ「ここ」で開催しています。新年を迎えるお節料理も予約で地域にもお届けしました。季節感も大切に献立作りをしています。



送迎を担います

NPO法人ワーカーズ・コレクティブ「ま〜る」

「ひろばの家・那須1」オープン時から、白河方面・黒磯方面・黒田原方面に毎日3便の定期運行を開始します。「ひろばの家・那須1」の入居者ほか、那須町在住の方は、会員登録していただくことで、利用できます。募集して選ばれた車両の愛称は「ひろばGO!」

ワンランドケア那須

介護保険サービスの「定期巡回随時対応型訪問介護・訪問看護」と「訪問介護」の事業所です。「那須まちづくり広場」の1階の元給食室に開設しています。この介護保険サービスは365日24時間の介護・看護を訪問介護員、または訪問看護師が要介護者の自宅を訪問し対応するサービスです。夜間の介護支援がないために施設入居を余儀なくされることがままあります。ようやく「おひとりさま」が最期まで自宅で生活することを選択肢として持てる介護支援環境になりました。

「ひろばの家・那須1」の緊急時へのサポート

「ひろばの家・那須1」の生活支援サービスの一つ「緊急時のサービス」は各居室の、「セコム」の緊急通報装置から、フロントに通報されます。緊急時の対応は、スタッフがいますが、二次対応として「セコム」からの対応も可能となっています。この緊急通報装置は、外出先でも緊急装置として対応できますので、持ち歩くことで、外出時も安心があります。外出時のセコムの対応は別途料金がかかります。

あさひ倶楽部

私ができることを希望する方に支援し合う助け合いの仕組みです。参加するには会員登録が必要です。おしゃべり、草取り、買い物代行など多様なことで登録されていますが、現在は、送迎を希望する方が多いです。

らくらくサポート センター那須

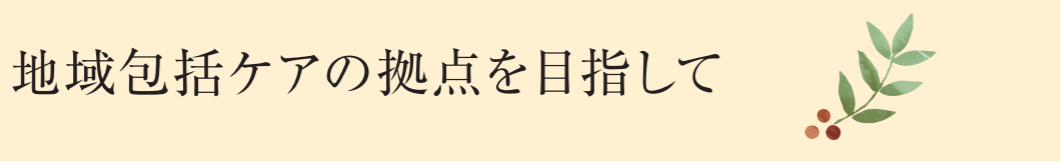
ちょっとした困りごと、買い物や通院、草刈りなどをお手伝いしています。(一社)日本社会連帯機構北関東委員会の会員同士の助け合いグループです。利用には会員登録が必要です。

NPO法人「つなぎ」

行政、福祉サービスの隙間を専門性の高い人たちが支援をしています。とても様々な支援活動を行っており、送迎にも対応しています。利用には会員登録が必要です。

那須町の行政サービス

那須町には、乗り合い型公共交通のデマンド交通と在宅福祉サービスの福祉タクシー券の配布があります。「那須まちづくり広場」にもデマンド交通の「のりあい交通停留所」があります。那須町役場ふるさと定住課公共交通課係に利用登録をします。福祉タクシー券は、重度心身障がい者、または満年齢75歳以上の高齢者のみの世帯の方に配布されます。那須町役場保健福祉課福祉係に申請が必要です。



地域包括ケアの拠点を目指して